

教科名	社会科	科目	地理	週授業時間	2時間
-----	-----	----	----	-------	-----

### 1.教科書および副教材・参考書

中学生の地理 世界の姿と日本の国土（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院）  
超教科書・manable（帝国書院 ICT 教材）

### 2.授業の目標および内容

地理学習の原点は、「ここはどんなところ？」ということを知ることにある。そのためには、その地域の歴史や経済、また政治的特色等を同時に把握する必要がある。

中学校ではまず、その地域の土台となる自然的特色を調べ、その歴史的背景を理解し、その地域の社会的現象を人間生活とのかかわりの中で多角的にとらえていくものである。

地理は「楽しい」科目である。単に「覚える」科目だけではなく、気候や地形などの自然環境から、その地域の特性を考え自分の身近な生活に置き換えて考えることが重要である。また、今年度から導入される iPad 等の ICT 機材も有効的に活用しながら、生徒の活動的な授業を展開していく。

中学1年生では、「世界の地理」を学習し、次年度はその学習を踏まえて世界の中の「日本」について学習していく。現在、世界は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の危機に直面している。このような不足な事態の対策においても、地理的視野というものは大いに役立つものである。また、近年の国際社会の重要な課題ともなっている「持続可能な社会（SDGs）」についても環境問題などの生徒の身近な事象を取り上げ、解決策を探求する実践例を取りあげたい。

### 3.試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月	第2回 2月	

#### 内容・難易度について

① 定期試験：50点満点で行います。出題範囲はその都度発表します。

（歴史とあわせて100点満点となります）

授業で学習した範囲で出題し、主に基本的な知識を問う問題です。

② 学力試験：50点満点で行います。（歴史とあわせて100点満点となります）

その時期までに学習した内容をすべてふまえて応用力をつける問題です。

※学期の評価は、地理・歴史を合算し、「社会」の1教科として評価します。

### 4. 課題・補習について

適時行います。

### 5. 評価の視点

地理についての知識・理解度・資料活用の技能・表現などを総合して評価します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿  第2章 世界のさまざまな生活と環境  アジアの多様性と経済発展  アジア 主要国の特色	六つの大陸と三つの大洋 世界の地域区分 地球儀と世界地図のちがい 赤道・本初子午線などの記入作業  自然環境学習～気候的な特色・ 世界のさまざまな気候  アジア州の自然環境 中華人民共和国の成立と現状 14億人の動向 産業の発展が進む南アジア 朝鮮半島の現状 ASEAN諸国と日本	教科書 P.1～12  教科書 P.16～17  教科書 P.33～48
2	統合を強めるヨーロッパの国々  世界に大きな影響力をもつ北アメリカ アングロアメリカ アメリカ合衆国 カナダ	EU諸国の全体的特色と地域の特色 地形・気候・農牧業・鉱工業・民族等 西ヨーロッパ諸国を中心に イギリス・ドイツ・フランス・イタリア オランダ等  北アメリカ大陸の自然環境 アメリカ合衆国の成立 世界経済の中心 大規模な農業と多様な農業 世界をリードする工業	教科書 P.50～63  教科書 P.74～87
3	南アメリカの開発と環境 ラテンアメリカ  他地域と結びつくオセアニア	インカ帝国 インディオ メスチソ 大規模化する農業と発展する工業  オーストラリア 移民の歴史と多文化社会への歩み 海外と結びついたオセアニアの産業 ニュージーランド	教科書 P.88～99  教科書 P.100～109